

学校設定科目「ガーデンデザイン」における表現力を高める指導の工夫 ——教え合い活動を効果的に取り入れて——

農業班 中村 祐子 (高等学校教諭)

生徒の現状

- 作品制作において**表現力が乏しい**
- 花苗の栽培特性が**デザインに反映されない**

その原因

栽培管理について**知識の理解が不十分**
栽培特性を**考慮**に入れて、デザインへと表現できない



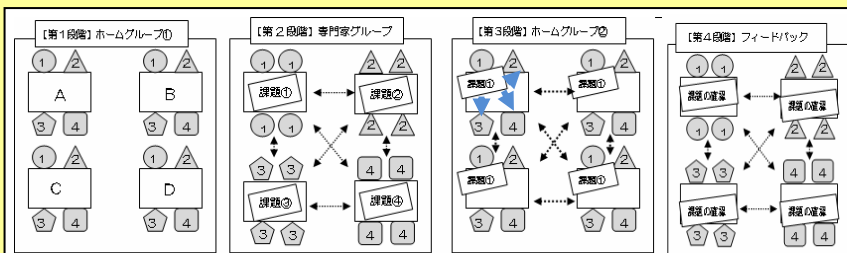
教師の願い

花苗栽培の基礎知識を深く理解し、その特性を作品制作のデザインに表現できる生徒の育成を目指した

協調学習のジグソー法を 応用した「教え合い活動」の実施

「協調学習」から生徒が多様な考えを共有し、**主体的に学びあうことにより**生徒の**思考力、判断力、表現力**などの育成を目指している。

『平成22年度県立高校学力向上基盤形成事業』
(東京大学発教育支援コンソーシアム推進機構)



本研究で実施したジグソー法の概要

Step 1 栽培の基礎知識を教え合う

- ①ホームグループの作成
活動の基本
- ②専門家グループでの課題探求
課題についての教え合い学習
課題例：品種の変遷、種類、栽培管理、栽培の注意点
- ③ホームグループでの教え合い活動
生徒自身で教師・生徒の2つの役割を果たす
- ④学習内容のフィードバック
小テストによる学習内容の確認

【効果】

- 意見交換の機会が増加
- 質問数の増加
- 聞き直し・確認の増加

知識の補充

定期試験の結果向上
昨年度生徒との比較 (50点配点)
+9.9点
26.9点 → 36.8点

Step 2 学習の責任感と他者への気付き

【先生役(教える)】

- 相手のために
- 要点をはずさない
- 大きな声で
- 字を丁寧に
- 教える手順の工夫

教え合い活動

【生徒役(教わる)】

- 他の生徒のまとめ方を知る
↓意識
- 自分のまとめ方にフィードバック

責任感 気づき

Step 3 デザインでの表現

デザインを構成においても **Step1 と同様に** 教え合いを行う

キーワード：花苗の『生長』

意見交換の増加

グループ内での自主的な校正

花苗の栽培特性をデザインで表現

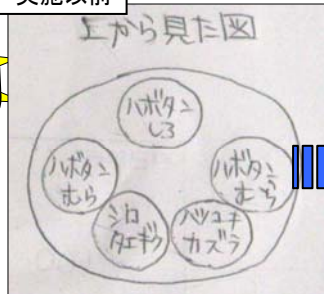
表現力

「教え合い活動」の成果

- 草花栽培の基礎知識の**理解を深める**効果
質問・聞き直しなどにより、他者からより多くの知識を得るのに有効
- 責任感を高める**効果
教えるための責任感を養うのに有効
- 他者の視点を**意識し、自分に活かす**効果
教わることで他者との違いを自身にフィードバックするのに有効
- 栽培特性を**デザインに表現する力を高める**効果
植物の成長を考慮にいれ、デザインとして表現するのに有効

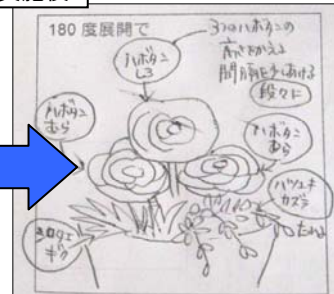
【抽出生徒Cのデザインの推移】

実施以前



平面的なデザイン
粗雑な図示 情報が少ない

実施後



立体的なデザイン
草花の図案 情報が多い

今後の課題

- 活動の**円滑化**を図るための、事前の**人間関係**作り
- 教員側の**資料準備**や**学習環境**の工夫
- 他の農業科目でも実践できる**指導方法の確立**

